

# あいみ富有の里



～お知らせ版 第52号～

平成24年 12月 3日発行  
発行元  
あいみ富有の里地域振興協議会  
広報誌編集委員会  
問い合わせ先 64-3504  
fuyunosato@town.nanbu.tottori.jp

## 路線バスを利用しよう



あいみ富有の里、あいみ手間山両地域振興協議会、日ノ丸バスなどが連携して取り組んでいる路線バス「御内谷」線の社会実験で、住民の利用が8.4%も増えるという好結果が出ました。この結果をもとに、引き続き来年3月までの半年間、社会実験を延長します。住民の皆様には、機会があれば是非バスを利用いただくとともに、今後も路線バス存続の取り組みへのご協力をお願いします。

日ノ丸バス米子支店が、いずれも3～7月の間、町内で乗降した利用客について調べました。それによると、5か月間の比較で、昨年は3,272人が利用、これに対し今年の利用者は3,547人で、275人、8.4%の増加でした。時間別で特に利用が多いのは、御内谷発は7時13分、9時15分、米子発が15時40分などとなっています。

また、昨年10月から始まった自転車積み込みは、今年7月までの合計で62台にとどまっていますが、県内でも初めてというこの取り組みが、メディアなどで取り上げられ、住民の関心を盛り上げることにもつながっているとみています。

両地域振興協議会で作る日ノ丸バス「御内谷」線存続委員会では、高校生向けの割引運賃、バスへの自転車積み込みを中心とする社会実験を、来年3月まで継続するとともに、高校生へのバス利用聞き取り調査も行いました。

存続委員会の田貝有史会長(富有の里会長)は「楽観できる状況ではないが、利用客が増加に転じたことは大きな励み。旧会見地区の足として欠かせない「御内谷」線存続に粘り強く取り組んでいきたい。」と住民の皆さんへの協力を呼び掛けています。(〇)

### 社会実験の内容

1. 自転車積み込みバスの運行(1日4往復、料金1回100円)
2. 高校生向け割引乗車券発行(500円区間350円など前回並みの内容)切符は「いこい荘」内事務所

### 【御内谷線】自転車搭載バス運行時刻表(平成23年10月1日現在)

米子駅発	13:15	15:40	18:10	20:00
御内谷着	13:59	16:24	18:55	20:42

御内谷発	7:13	14:05	16:40
米子駅着	7:58	14:48	17:25

- ・日ノ丸バス・町ふれあいバスが競合しているので無駄の無いよう調整
- ・町ふれあいバスの米子乗り入れの検討
- ・高校生割引切符がいつまで続くか情報不足
- ・料金が高いので乗りたくても利用できない200～300円が適当
- ・バス停を増やし、便数を多くする(特に朝・夕)
- ・自転車搭載バスは広報誌で知っていたが、2台しか搭載できず満車だったらと不安で、利用していない
- ・日ノ丸バスが困難なら、町ふれあいバスを活用し、米子便を確保
- ・乗合からデマンドにしたら、利用増になる
- ・家族で送迎ができないときもある。廃止は困る
- ・運賃が高い ・悪天候時に利用したい
- ・通学時間帯にダイヤが合わない

<高校生聞き取り調査の一部の意見を抜粋>

会見地区唯一の公共交通機関である日ノ丸バス「御内谷」線は沿線住民に欠かせない交通手段として親しまれているが、少子高齢化やマイカーの普及によって、利用者が減少し存続が危ぶまれている。数十年前は満員であったバスも、今では空バス状態である。もはや人口減少地域では路線バスの運行は、行政の補助金なしでは存続できなくなっているうえ、国等による責務を明確化する「交通基本法」の制定も遅れている。

このような状態の中で、会見地区両地域振興協議会が中心となり路線バス存続を目指し、ダイヤ改正・高校生の利用促進・住民啓発に取り組み一定の成果が出ていることは、集落を超えた住民活動として大いに評価できるものである。今後は機会がある度に、路線バスを積極的に利用し、町の黄色循環バス及び花回廊送迎バスとの連携も考慮し、利用促進を図る必要がある。(住民の声)

# 都市間交流事業(就将公民館)



公民館祭出店



そば打ち体験交流



## 地域の行事...

年中行事の衰退を見る中で、地域内のほとんどの集落で継承されている「申し上げ祭り」。農作物の収穫が無事終わったことを神に御礼「申し上げる」収穫感謝祭。今回は市山区・御内谷区を取り上げた。



申し上げ祭りでは、稲わらで製作された「大蛇」を奉納(御内谷区提供)



山根神社

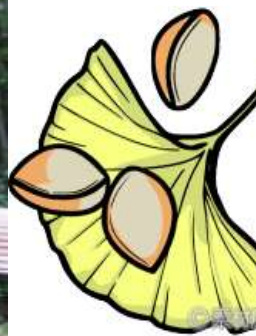
### 富有の風

平成24年も師走を向かえた。猛暑であった夏から秋があっという間に過ぎ、冬将軍到来間近である。

今期も児童・生徒の通学路(歩道)の除雪を、地域住民の皆様の協力を得て実施することになる。町は車道の除雪を優先するため歩道の除雪は遅れがち。小さな児童が雪に埋もれた中を歩いて登校する姿を見て「なんとかしてやりたい。」と思っていた。昨年度から小型除雪機が導入され安堵した。

地域主権・分権が叫ばれている地方の時代。何から何まで行政に頼らず、地域で出来ることは地域でやる。南部町が先進的に取り組んだ「地域振興協議会」制度。この制度は自助・共助・公助について、考える絶好の機会だ。

慌ただしい日々が続くが、良いお年をお迎えください。(N)



★聖神社では遷宮が行われた。(池野区提供)

### 行事案内

★12月の**青空市**(運営担当:ふれあい部)

日時:12月9日(日) 15:00~17:00

感謝祭 23日(日) 13:00~16:00正月用品(しめ縄・もち・まめ等)取り揃え...豚汁サービス外

★**イルミネーション**づくり(担当:地域づくり部)

12月9日(日)13:00~「えぷろん」で小学校児童と交流

★**視察研修**(担当:総務企画部)

日時:12月8日(土)

視察先:出雲市佐田町

内容:「特産品づくりで地域活性化」  
「地域おこし」のヒントを探る。

<参加者募集・無料>

